



しんやはぎ

第9号 2006.3

「しんやはぎ」は、矢作川の沿岸で国営かんがい排水事業を実施している、農林水産省東海農政局 新矢作川用水農業水利事業所の広報誌です。



矢作川流域の自然

スイセン（ヒガンバナ科）
南部幹線水路の受益である幸田町では、花いっぱい運動のとりくみとして、約2万球の球根を植えました。2月中旬から花を楽しむことができます。

今月の記事 今月の記事

岡崎市天白町・赤浜町の上利用
岡崎市矢作西保育園の畑づくり
工事状況レポート



みどり やばぎなんふれんごう
水土里ネット矢作南部連合では、地域にある農業用水やため池などを活かした地域づくりにとりくんでいます。写真のスイセンもみんなで植えたんだよ。

関係者の協力のおかげで工事で出た土を矢作西保育園の畑の土として再利用することができました。ありがとうございます。他にも工事で出た土を受け入れてくださった方々のおかげで順調に工事がすすんでいます。改めて御礼申しあげます。



みんなでつくる遊歩道



概要

なぜ遊歩道をつくるの？

新矢作川用水農業水利事業では、将来の維持管理を容易にしたり、ゴミ等の混入を防いだりする目的で、矢作川用水をパイプライン化しています。(パイプライン化とは、地上にあった水路をパイプにして地下に埋めることをいいます。)パイプライン化により、下の写真のように水路の上部には新たに空き地ができます。こうした水路用地の上部の空き地に遊歩道等をつくることなどにより地域で有効に活用していくことを考えています。

岡崎市の天白町と赤浜町もその例で、パイプライン化されて空き地になった六ツ美幹線水路上部を、どうしたら有効に利用できるか、話し合いを続けてきました。

六ツ美幹線水路ってどんなところ？

岡崎市天白町から西尾市に向かって矢作川沿いを流れる水路で、以前は通称合口用水と呼ばれていた大きなコンクリート製の水路がありました。現在はパイプライン化が完了してその上部が空き地となっています。



すこし前



いま

このように空き地になった水路上部を散歩や憩いの場などとして有効に利用することを「上部利用」と呼んでいます。

六ツ美幹線水路の上部利用計画ができるまで

上部利用ってどんなもの？



地域の人にとっては、初めてのワークショップ!! よりよいものをつくるために、実際に上部利用の先例を見学することで、イメージを膨らませていくよ。上の写真は、先に上部利用のためにせせらぎ水路を作った豊田市の上郷幹線水路だよ。

グループごとに検討しよう(ワークショップ)

はじめに・・・
ワークショップって何だろう？

ワークショップとは、様々な立場の人が集まって、お互いを尊重しながら自由に意見を出したりみんなで議論したり、一緒に何かを作り上げたりするような集まり(場)のことをいいます。

今回のワークショップでは、空き地となった六ツ美幹線水路の上部をどう利用するか、どういったものがほしいかを考え、設計をまとめることが目的です。

沿道には民家が近いから、プライバシーを守るために照明に気を付けたり、目隠し用の低木を植えたりするのよ。

水路が地下に埋まっても、水と親しめるように、子どもたちが遊べるような小さい水路もつくるんだよ。



1. 現地視察

実際に上部利用を行う場所を視察しました。



2. 話し合い

「どんな場所にしたいか」について地域の人々で話し合いました。



3. 設計図の確認・見直し

話し合いで出た意見をもとに行政側が設計案を作成し、地域住民で確認・見直しを行いました。



4. 利用を想定しての見直し

使いやすいようになっているか、行きたいと思う場所かどうかを確認しました。



イメージ図

ついに上部利用の計画ができ上がったよ! この計画に沿って平成18年の秋から工事を始め、平成20年の春に完成させる予定です。その後は地域の人々に見守られながら農業用水を利用した親水空間として多くの人に利用されていくよ。みんなで楽しく利用するため、大切にしようね。

工事現場の土で畑ができたよ!!



どうやって畑をつくったの？

新矢作川用水農業水利事業が岡崎市昭和町で行っている工事で出た土(約700立方メートル)を、岡崎市の矢作西保育園のとなりの水田に運び入れて畑にしました。岡崎市昭和町の工事は、農業用水の維持管理のしやすさを考え、水路をパイプにして地下に埋設するというものです。工事で出た土は養分のある土なので、畑をつくるのに適しています。



キリンのバックホウを見学したよ

保育園児たちは、畑を作るときに使ったキリンの模様に塗ったバックホウ(パワーショベル)が穴を掘ったり土を運んだりする様子を見学し、実際にバックホウの運転席に上って記念撮影をしたりしました。

工事用の大型機械を間近で見るとは初めての園児たちにとって、大変貴重な経験となりました。園児たちは口々に「楽しかった、もっと乗りたい」とはしゃいでいました。



自分だけの下敷きを作ったよ

この畑にはジャガイモ、タマネギ、ニンジン、スイカなどを植え、様々なイベントで食べる計画で、園児たちは畑でおいしい野菜が育つようにと、自分で書いた絵を加工して自分だけの下敷きを作ったりして楽しみました。



みんな楽しそうだったわね。

おいしい野菜がとれるといいね。



こうじじょうきょう ほそかわ ほしゅう
工事状況レポート（細川トンネルの補修）

やはぎがわようすい の水は ともえがわ から 取水された後、ほそかわ 細川トンネルを
 通って下流へ流れていきます。
 しんやはぎがわようすいのうぎょうすいりじぎょう 新矢作川用水農業水利事業では、
 作られてから40年近く経ったこの細川トンネルをもっと長く
 使えるようにするため、今年度は、コンクリート製の板を使った補修工事を行っています。



しんやはぎがわようすいのうぎょうすいりじぎょう
新矢作川用水農業水利事業

平成6年から延長57.4kmの水路（赤い線の部分）と細川頭首工・鹿乗川頭首工・羽布ダムの修理や改修を行っています。この水路は矢作川沿岸の7,073haの田畑に水を供給しています。



発行元：農林水産省 東海農政局 新矢作川用水農業水利事業所
 〒446-0065 安城市大東町 22-16
 電話番号 0566-74-7327(代表) Fax.0566-71-3265
 ホームページ：<http://www.tokai.maff.go.jp/nougyou/seibi/kensetu/sinyahagi/index.htm>